

第 102~103 回 木材利用システム研究会  
**ウィズコロナ時代の木材製品開発**

【ZOOM オンライン開催】

新型コロナウイルス感染が収束の気配を見せない中、各メーカーはコロナウイルス感染症対策商品を開発し、様々な生活用品が市場に投入されています。一方、消費者にとっては、何を基準にコロナウイルス対策の効果を判断すればよいのかわからないのが現状ではないかと感じます。こうした中、抗菌・抗ウイルス性についての検査基準をクリアした製品に対して付与される SEK マーク（対象は繊維製品）、SIAA マーク（非繊維製品が対象）が注目されています。このうち、住宅建材、木材製品と関係が深いのは SIAA マークです。SIAA マークは、製品の抗菌／防カビ／抗ウイルス性能に関する JIS や ISO に準拠した業界基準であり、抗菌剤メーカー、抗菌加工製品メーカー、抗菌試験機関から構成される（一社）抗菌製品技術協議会が運営しています。

木材製品では、抗ウイルスの SIAA マークを取得した壁材、壁紙、床材、ハンドルなどが市場に投入されていますが、木材業界全体ではまだなじみが薄いと思います。そこで、4~5月の月例研究会では、シリーズ「ウィズコロナ時代の木材製品開発」として、抗菌・抗ウイルスの基礎から、最新の製品開発動向まで集中的に取り上げることといたします。まず、4月は、（一社）抗菌製品技術協議会の技術委員会座長を務められている（一財）日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター所長の射本康夫氏に、抗菌・抗ウイルスの基礎から抗菌・抗ウイルス評価技術、近年の SIAA 登録加工製品の動向についてお話し頂きます。また、5月は建材の開発に携わっている由良武志氏に、凸版印刷における SIAA 関連製品の開発動向についてご紹介いただきます。

抗菌・抗ウイルスの基礎から応用を学び、ウィズコロナ時代の木材製品開発について参加者の皆様と議論を深めたいと考えております。是非、多くの皆様にご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 月	第 102 回	I	日時：2021年4月8日（木）17：30～（配信開始 17：00）
			「抗菌・抗ウイルスの考え方と評価技術について」
			射本 康夫 氏（（一財）日本繊維製品品質技術センター 神戸試験センター 所長）
5 月	第 103 回	II	日時：2021年5月13日（木）17：30～（配信開始 17：00）
			「抗ウイルス・抗菌機能を有する建材向けシート製品等の開発動向」
			由良 武志 氏（凸版印刷（株） 環境デザイン事業部 建装材開発・設計本部）

- 主 催： 木材利用システム研究会
- 会 場： ZOOM を利用した Web 会議形式  
※当日のログイン情報については、お申込み頂いた後にお知らせいたします。
- 参 加 費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は 3,000 円
- 申込期限： 4月：2021年 4月 1日（木）  
5月：2021年 5月 6日（木） ※申込開始 4月下旬予定
- 申込方法： ホームページ（<http://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。
- そ の 他： ZOOM の操作方法マニュアルを別途送付いたします。  
お問い合わせはメールにてお願いいたします。

木材利用システム研究会事務局：（長坂、栢野）  
〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1、7号館 B棟 439 室  
東京大学環境材料設計学研究室内  
電話：03-5841-7506 FAX：03-5841-0915  
メール：info@woodforum.jp